

会計名			学習発表会実施事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	北部市民センター		
款	項	目					担当係			
10	5	9								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	北部市民センター利用団体の学習成果を芸能発表、展示等で行い、利用グループの交流と地域住民との親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会を年1回、北部市民センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	北部市民センター利用団体及び地域住民		事業期間	平成2年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		11月6日（日）開催 参加団体数 24団体 参加者数 353人 入場者数 490人		11月4日（日）開催 参加団体数 22団体 参加者数 300人 入場者数 171人		11月3日（日）開催 参加団体数 21団体 参加者数 306人 入場者数 224人		11月初旬開催予定 参加予定団体数 22団体 参加者予定数 320人 入場者予定数 300人		
成果		利用グループが日頃の学習成果を作品展示、芸能発表、お茶席等を実施することにより、利用グループの交流と親睦の輪を広げることができ、地域住民との交流と親睦が深められた。								
課題		学習発表会の参加者数、入場者数が激減した平成24年から若干回復したものの、平成23年度の水準に及ばなかったため、さらなる増員のための施策が求められる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		参加団体数（団体）			24	22	21	22	25	
成果指標		来館者数【参加者数+入場場数】（人）			843	471	530	620	670	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果の発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（予算）	25年度事業費内訳		
	事業費 ①		320	320	341	349	合計	341,250 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000 円		
		一般財源	320	320	341	349	使用料及び賃借料	21,250 円		
	職員人件費 ②		1,436	1,415	3,857	4,030				
	総事業費（①+②）		1,756	1,735	4,198	4,379				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称				
25年度までの累積事業費		0								
27年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	北部市民センター
款	項	目		担当係	
10	5	9			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	北部市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	北部市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民の学習意欲を高めるため、学習成果の発表の場を提供することは、生涯学習活動を支援するために必要な事業であり、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、北部市民センターにおいて学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部			
一般会計							担当課	北部市民センター			
款	項	目					担当係				
10	5	9									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進								
	目的	生涯学習施設（北部市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画								
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例								
		対象者	市民		事業期間	昭和62年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画			
		北部公民館利用者数 24,627人 施設利用率 27.3%		北部公民館利用者数 21,829人 施設利用率 26.0%		北部公民館利用者数 19,823人 施設利用率 26.3%		北部公民館利用者数 22,000人 施設利用率 26.5%			
成果 (できたこと)		身近な学習施設である北部市民センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう住民の利便を図り生涯学習の場を提供できた。									
課題 (できなかったこと)		施設利用者数が減少傾向にあり、市民講座参加者などに新たなサークル活動を促すなど、公民館利用者数、施設利用率を増やす施策が求められる。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度			
活動指標		北部公民館利用者数（人）			24,627	21,829	19,823	22,000	23,000		
成果指標		施設利用率（%）			27.3	26.0	26.3	26.5	27.0		
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。									
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳			
	事業費 ①		8,772	9,464	11,986	13,074	合計	11,985,773 円			
	財源	特定財源	1,324	1,102	1,170	1,340	需用費	2,919,835 円			
		一般財源	7,448	8,362	10,816	11,734	役務費	153,357 円			
	職員人件費 ②		3,589	3,537	3,857	4,030	委託料	8,833,453 円			
	総事業費 (①+②)		12,361	13,001	15,843	17,104	使用料及び賃借料	79,128 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称					
25年度迄の累積事業費		0		市民センター使用料 電話料実費徴収金							
27年度以降の事業費見込		0									

会計名		施設補修事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	北部市民センター		
款	項					目	担当係		
10	5					9			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	児童クラブ退去に伴い、事務所及び児童集会室の再整備を行うと共に、老朽箇所を再整備することで、利用者にとって、安全で快適な施設の維持を図る。		主たる内容	児童集会室の窓扉が外から見えない状態なので、安全性の確保から視認性をよくする。また、職員の再配置により事務所のレイアウトを変更し、来客者スペースを広げる。さらに、屋外防犯灯の老朽化に合わせ、照度を高めた防犯灯に変更する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令	社会教育法					
		対象者	市民		事業期間	昭和62年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
				老人センター污水管改修工事		屋外防犯灯修繕 1階倉庫間仕切り等撤去工事 1階児童集会室木建等取替え工事		遊戯室ランマオペレーター取替修繕 児童集会室壁補修 給湯器室温水器廻り改修修繕 門扉取替工事	
成果 (できたこと)		防犯灯1基につき2灯あるものを1灯にし、照度を高めることで、駐車場を明るくできた。集会室のすりガラスを透明に替え、外部からの視認性を高め、安全性を高めた。事務所内の倉庫を壁を撤去することで廃し、カウンター等のレイアウト変更することで、来客者スペースが増え、室内の採光が増え、風通しがよくなったことで、冷房の節減ができた。							
課題 (できなかったこと)		施設の老朽化に伴い、随時修繕を行っていく必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	868	479	1,800	合計	478,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	159,600 円	
		一般財源	0	868	479	1,800	工事請負費	319,200 円	
	職員人件費 ②		0	707	701	733			
	総事業費(①+②)		0	1,575	1,180	2,533			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名		市民講座開設事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	北部市民センター		
款	項					目	担当係		
10	5					9			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期3講座、後期3講座に分けて約3か月間（各10回程度）で開設する。 1講座当たりの受講者数は、10人～20人程度で実施し、市民が気軽に学習活動に触れられる場を設ける。		
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。							
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法						
		対象者	市内在住または在勤の人		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		市民講座開設数 5講座 市民講座受講者数 105人		市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 103人		市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 116人		市民講座開設予定数 7講座 市民講座受講者予定数 132人	
成果 (できたこと)		受講者の知識・教養の向上、技術の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。							
課題 (できなかったこと)		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮し、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果 指標		市民講座受講者数（人）			105	103	116	132	120
指標									
他市との 比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。							
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		440	506	604	654	合計	604,100 円	
	財 源	特定財源	88	102	115	116	報償費	450,000 円	
		一般財源	352	404	489	538	需用費	82,000 円	
	職員人件費 ②		3,589	3,537	3,857	3,298	役務費	10,000 円	
	総事業費 (①+②)		4,029	4,043	4,461	3,952	使用料及び賃借料	62,100 円	
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		講座受講料					
27年度以降の事業費見込		0							